

令和 5 年度第 1 回全国健康保険協会秋田支部評議会議事録

開催日時：令和 5 年 7 月 19 日（水）10：30～12：00

開催場所：アルバートホテル秋田 2 階 かとれあ

出席者：松渕評議員（議長）、佐々木（宏）評議員、柳田評議員、小林評議員

佐々木（卓）評議員、畠山評議員、栗盛評議員、近藤評議員（代表別・50 音順）

加藤支部長、河上部長、千葉部長、青木グループ長、二田グループ長、

今野グループ長、園部グループ長、吉田グループ長補佐、澤口主任、鈴木スタッフ（記）

議事録署名人：小林評議員、栗盛評議員（50 音順）

1. 令和 4 年度協会けんぽの決算と秋田支部の収支について

資料 1 に基づき事務局から説明。

○ 質疑応答、意見交換等

【事業主代表】

協会けんぽの保険財政は将来的に赤字構造であると示されているが、単年度収支差はプラスであり準備金も 2010 年度以降積み上がっている。双方の関係性をどのように理解するとよいか。

【事務局】

協会けんぽでは、中長期的にどのように収支差が推移していくか見通しを立てており、2022 年 9 月の試算では、2026 年度から単年度収支差が赤字になることが見込まれている。医療給付費が高い伸びで推移していることや、今後、団塊の世代が後期高齢者になることによって後期高齢者支援金が年々増加することが見込まれていることから、平均保険料率 10%を維持した場合でも将来的には単年度収支差がマイナスとなって積み上げた準備金を取り崩さなければならない見通しで、楽観を許さない状況である。

【事業主代表】

どのくらいの頻度で診療報酬の見直しを行っているのか。

【事務局】

診療報酬改定は 2 年に 1 度行われている。

【被保険者代表】

後期高齢者支援金の増加が見込まれるなど財政維持が困難な状況ではあるが、今後も平均保険料率 10%を維持できるような対策を考えていく必要がある。

【学識経験者】

加入者の中には、協会けんぽの決算が黒字であることや、準備金があるにもかかわらず、保険料が下がらないことに疑問や不満を感じる方もいると思われる。加入者に対しても、準備金等の推移や保険財政の傾向を丁寧に説明し理解を得る必要がある。

【被保険者代表】

準備金残高 5.6 ヲ月分により、今後協会財政がどのくらいの期間保たれるのか伺いたい。

【事務局】

9 月の運営委員会で、今回の決算や直近の医療費、賃金等の状況を踏まえた今後の収支見通しの試算が示されるため、次回 10 月の評議会で令和 6 年度平均保険料率を議論する際に、説明させていただく。

〔報告事項〕

1. 令和 4 年度秋田支部事業実施状況について

資料 2 に基づき事務局から説明。

○ 質疑応答、意見交換等

【被保険者代表】

令和 4 年度の KPI が未達成であっても、全国順位が 1 位や上位であることは評価できると思う。

健康保険委員の委嘱者数は年々増加しているが、各種研修会等への参加に至らない場合も多い。研修会へ参加することで委員のスキルアップにつながるため、積極的に参加を働きかけていただきたい。

【学識経験者】

協会けんぽ主催の集合健診と同会場での特定保健指導の同時実施では、13 日間で 143 人実施とのことだが、保健師何名で対応したのか。

また、健診当日に特定保健指導を実施していない健診機関に対してどのようなアプローチを計画されているのか伺いたい。

【事務局】

1 日あたり保健師 4～5 人で対応を行った。

全国的に、健診当日に特定保健指導を実施することがスタンダードとなっており、秋田県内の健診機関に対しても依頼をしているが、人手不足によりなかなか実現しないところである。ただし、県内でも数ヶ所実施している健診機関があるため、今後実施機関の拡大を図っていきたい。

また今年度、検診車にて同時実施可能な健診機関と契約したため、積極的に活用してまいりたい。

【学識経験者】

先日の新聞にて、2021 年度の全国におけるメタボ該当者と予備軍の割合に関する記事が掲載されていた。秋田県は 31.9%でワースト 5 位で、最も割合が低いのは新潟県であり、2008 年度と比べ割合が減少した 2 県のうちの 1 県が山形県であった。風土や気候が似ている新潟県、山形県の取り組みを見習い取り入れつつ、食生活改善としての減塩や運動習慣促進の広報により力を入れていただきたい。

【学識経験者】

栄養士会では具体的にどのくらい塩分を摂取しているのか把握してもらうような事業を進めている。今年度は事業所や保育園への出前講座として塩分濃度を測るような取り組みを行っており、単に減塩を

呼びかけるだけでなく行動変容につながるような取り組みを実施している。

【事務局】

秋田支部では、今年度も減塩啓発事業を実施することにしており、具体的には加入者の塩分摂取量を把握してもらうことを目的に、塩分摂取状況に関するアンケートを実施したり、減塩啓発チラシや食品サンプルを活用して食品に含まれている塩分量を示し、減塩への意識を高めてもらうようイベント等で働きかけている。また、塩分の高いカップ麺の汁を飲み干さないように、アンケート回答事業所にカップ麺の汁を固める凝固剤を配付するなどの取り組みを計画している。

2. 令和4年度秋田支部保険者機能強化予算執行状況について

資料3に基づき事務局から説明。

【学識経験者】

県内の健保組合では、一括で県歯科医師会と健診事業の契約を結び、歯科の健診費用4,400円を保険者が全額負担することで、利用者が年々増加している。協会けんぽで実施している歯と口腔の健康づくり事業の内容について教えていただきたい。

【事務局】

秋田支部では、歯科健診への意識向上を目的に、事業所を訪問しての歯科健診指導を秋田県歯科医師会に委託し実施している。健診費用の一部を協会で負担している。

■次回評議会の開催 令和5年10月開催予定